



被服の基礎に取り組もう！被服製作検定4級に挑戦！

生活科学科では、以下の表のように、被服製作技術検定（以下、被服製作検定）の合格を目標に日々の授業を頑張っています！

被服製作検定では、手縫いやミシン縫いといった被服製作の基礎から始まり、簡単な衣服製作（ハーフパンツ）に必要な技術や知識などを学び、日常生活に役立てていきます。

今回は、1年生が被服製作検定4級を受検した様子についてお伝えします。



学年	合格を目標とする検定名
1年生	被服製作検定4級
全コース2年生希望者	被服製作検定3級
全コース3年生希望者	被服製作検定2、1級



被服製作検定4級では、「ミシン縫い」と「手縫い」に関する実技試験を行います。制限時間は2つ合わせて35分です。
 「ミシン縫い」では、指示されたとおりに直線や角、曲線を縫い、三つ折り縫いも行います。
 「手縫い」では、なみ縫いやまつり縫い、半返し縫いなどの基本的な縫い方とボタンつけを行います。



はじめに担当の先生の説明を聞いて、事前準備を行い、一齐にミシン縫いからスタートします。ミシン操作に気をつけながら、指示された通りに直線や曲線などを素早く縫い進めます。

ミシン縫いが終わり次第、手縫いに取りかかります。縫い方によって針の刺し方や糸を通す間隔が異なり、細かい作業となるため、時間がかかります。みんな時間内に終われるように頑張っていました！



被服製作検定4級はミシン縫いや手縫いなど、被服製作の基礎ですが、ミシンの操作や手縫いの感覚などに慣れないと難しい検定です。それでも、日々の授業や放課後の時間を使い、しっかり練習頑張っていましたね！お疲れ様でした。検定の結果は2学期に発表します^^

